

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	家族と共に本人を支えていくために、本人の生活の様子を伝えたり、相談しながら良好な関係を築いているが、本人に対して関心が薄かったり、職員に任せきりになってしまう家族もある。ホームに入居することで安心だけでなく、関り方に戸惑ったり遠慮もあるのではないかな。	家族も高齢であったり、仕事などで忙しい場合もあるが、職員や他の家族とも交流できるようにし、互いに声をかけ合い、いろいろな話ができるようになることで、本人の介護に参加しやすい環境を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会を作り、定期的集まって報告や意見交換をする。 ・家族同士が交流できるよう仲介し、事業所に対する意見を表出しやすくする。 ・会議や行事の日程を、家族が参加しやすいように調整する。 	12 か月
2	4	運営推進会議は利用者や家族、町職員、地域包括支援センター職員、地域住民代表者等で構成されているが、他の住民や有識者などにも参加してもらうことでより多くの方の意見を取り入れてサービスの向上に努めたい。	運営推進会議の構成員以外の地域住民や、他職種の方にも出席してもらい、グループホームや入居している認知症の方について知ってもらう。また、地域の情報を得ることで入居者の社会参加に繋げていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の時期には消防団員、地域行事の前にはその関係者の出席をお願いしたり、各回、議題にゆかりのある参加者を依頼する。 ・警察官や教育関係、地元の商店など、高齢者にかかわる職種の方にも出席してもらえるように取り組む。 	24 か月
3	40	利用者の好みの食材を取り入れた献立を立てているが、マンネリ化してきており、また、調理法によっては入居者好みでない場合もあり、残食が出ることがある。	調理に携わる職員全員が高齢者の食事や調理に関する知識を習得し、食べやすく美味しい食事を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者も参加しての調理会議を行う。 ・好みの食材、献立など、本人や家族から聞き取りし、入居者に味見や味付けを手伝ってもらいながら学ぶ。 ・入居者を講師にして職員の料理教室を実施する。 	6 か月
4	2・3	地域行事に参画して交流を深め、認知症に対する理解や啓発活動を行っているが、入居者が地域のために貢献することで、自信や張り合いを持ってほしい。	入居者が地域に対して直接的に貢献できることを考え、余暇時間やレクリエーションの一環として職員といっしょに活動する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所前の歩道の清掃をする。 ・散歩する時にみんなでゴミ拾いをする。 ・雑巾を縫い、地域の幼稚園や学校で使ってもらう。 ・かかしを作って展示する。 	24 か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。